

第 84 回日本健康学会総会  
The 84<sup>th</sup> Annual Meeting of  
the Japanese Society of Health and Human Ecology

プログラム

行事日程  
タイムテーブル  
一般演題プログラム

会 長 門司和彦（長崎大学大学院熱帯医学グローバルヘルス研究科）  
期 日 令和元（2019）年 11 月 1 日（金），2 日（土）  
（3 日（日）教育ワークショップ，連携研究会セミナー）  
会 場 長崎大学医学部坂本キャンパス 記念講堂，良順会館  
長崎県長崎市坂本 1-12-4  
事務局 長崎大学大学院熱帯医学グローバルヘルス研究科  
〒 852-8523 長崎県長崎市坂本 1-12-4  
TEL：095-819-7949 FAX：098-819-7892  
Email：jshhe84-office@tm.nagasaki-u.ac.jp  
WEB サイト：http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/jshhe84/

## 行 事 日 程

### 【学会長講演】

演 者：門司和彦（長崎大学）

演 題：急性感染症と生活習慣病のはざままで

座 長：杉田 聡（大分大学）

日 時：2019年11月1日（金）9：00～9：30

場 所：長崎大学医学部坂本キャンパス 記念講堂（以下同様）

### 【メインシンポジウム】

テーマ：人口政策と健康

基調講演1

演 者：杉田菜穂（大阪市立大学）

演 題：戦前の思想的潮流から考える

基調講演2

演 者：廣嶋清志（島根大学）

演 題：戦後日本の人口政策史から考える

指定発言者

佐藤龍三郎（中央大学）

「人口転換と人口論の展開—マルサスからSDGsまで—」

逢見憲一（国立保健医療科学院）

「優生保護統計等に見る人口政策」

座 長：中澤 港（神戸大学）

林 玲子（国立社会保障・人口問題研究所）

日 時：2019年11月1日（金）9：30～12：00

### 【特別講演】

演 者：横山 尊（九州大学）

演 題：優生学史における日本民族衛生学会の位置

座 長：門司和彦（長崎大学）

日 時：2019年11月1日（金）16：00～17：00

### 【学術サロン】

テーマ：社会に開かれた学会を目指して

座 長：門司和彦（長崎大学）

佐伯圭一郎（大分県立看護科学大学）

日 時：2019年11月1日（金）17：00～18：20

### 【ミニシンポジウム 1】

テーマ：戦前・戦中の医学研究 再考

演者 1：津谷喜一郎（東京有明医療大学）

演題 1：「医は不仁の術」再考－戦時と平時の、個別的倫理と集合的倫理－

演者 2：丸山マサ美（九州大学）

演題 2：アメリカ国立公文書館にみる九州大学生体解剖事件関係 資料

演者 3：逢見憲一（国立保健医療科学院）

演題 3：京城帝国大学における水島治夫の植民地生命表研究

座 長：丸井英二（人間総合科学大学）

日 時：2019年11月2日（土）13：00～14：00

### 【ミニシンポジウム 2】

テーマ：環境疫学：大気汚染・温暖化

演者 1：橋爪真弘（東京大学）

演題 1：黄砂の健康影響 文献レビュー

演者 2：西川太規（長崎大学）

演題 2：Association between short-term exposure to PM2.5 and daily respiratory hospital admission among children in Bhaktapur, Nepal

演者 3：本田 靖（筑波大学）

演題 3：2018年の熱波による熱中症患者数の推計

演者 4：小村将人（長崎大学）

演題 4：気温と死亡リスクの関連～地球温暖化による健康影響～

座 長：Chris Fook Sheng Ng（長崎大学）

日 時：2019年11月2日（土）14：00～15：00

### 【教育講演】

Opening remark

本田 靖（筑波大学）

教育講演 1

演 者：本田 靖（筑波大学）

演 題：疫学研究における基礎統計解析

座 長：橋爪真弘（東京大学）

日 時：2019年11月2日（土）15：20～16：20

教育講演 2

演 者：佐藤俊哉（京都大学）

演 題：疫学調査におけるバイアス補正

座 長：本田純久（長崎大学）

日 時：2019年11月2日（土）16：20～17：20

**【関連行事】**

- (1) 理事会 2019年10月31日(木) 19:00～21:00  
長崎大学医学部 グローバルヘルス総合研究棟4階中セミナー室2
- (2) 評議員会 2019年11月1日(金) 12:05～12:55  
長崎大学医学部 ポンベ会館 1階セミナー室
- (3) 論文賞授賞式 2019年11月1日(金) 13:00～13:10  
長崎大学医学部 記念講堂
- (4) 記念撮影 2019年11月1日(金) 18:20～18:25  
長崎大学医学部 記念講堂
- (5) 情報交換会 2019年11月1日(金) 18:30～20:00  
長崎大学医学部 生協食堂

## タイムテーブル

**10月31日 (木)**

グローバルヘルス総合研究棟

**11月1日 (金)**

記念講堂，良順会館

**11月2日 (土)**

記念講堂，良順会館

**11月3日 (日)**

グローバルヘルス総合研究棟

8:30	受付
9:00	ポスター掲示開始
9:30	会長挨拶・会長講演
	メインシンポジウム 「人口政策と健康」
12:00	昼食
13:00	※評議会 12:05-12:55
13:15	論文賞授賞式
14:50	口演1 O1-01~06
15:00	休憩 (10分)
15:50	ポスターディスカッション1 P1-01~33
16:00	休憩 (10分)
17:00	特別講演
18:20	学術サロン
18:30	記念撮影
18:30	移動/クローク終了
20:00	情報交換会 (生協食堂)
19:00	理事会会議 (4F 中セミナー室2)
21:00	

8:45	受付
9:15	口演2 O2-01~06
10:50	休憩 (10分)
11:00	ポスターディスカッション2 P2-01~30
11:50	昼食
13:00	ミニシンポジウム1 「戦前・戦中の医学研究 再考」
14:00	ミニシンポジウム2 「環境疫学: 大気汚染・温暖化」
15:00	休憩 (15分)
15:15	教育講演 1
16:20	教育講演 2
17:20	
17:30	閉会式/クローク終了

8:30	1F 大セミナー室	4F 中セミナー室1	4F 中セミナー室2
9:00	受付		
9:30	環境疫学教育ワークショップ (英語)	連携研究会 セミナー1	連携研究会 セミナー2
11:00			
12:00	昼食	昼食	
13:00	環境疫学教育ワークショップ (英語)		
13:30		連携研究会 セミナー3	
15:00			
16:30			

## 一般演題口演プログラム（第1日目）

記念講堂

2019年11月1日（金）

13:15～14:50 口演1

座長：菊田香苗（杏林大学）

- O1-01 国際保健における内なる優生思想一言説分析に依拠して  
○神谷保彦\*  
\*長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科
- O1-02 2000年～2015年のわが国における年齢調整死亡率低下の年齢・死因構造  
○逢見憲一\*  
\*国立保健医療科学院生涯健康研究部
- O1-03 中山間地域の少子化と人口移動に影響を及ぼす要因  
○日高未希恵\* 今井秀樹  
\*東京医療保健大学大学院看護学研究科
- O1-04 女性の既往出生児数と主観的健康の関連—検証的因子分析を用いたメカニズムの検討—  
○小西祥子\* 梅崎昌裕 鈴木庄亮  
\*東京大学大学院医学系研究科, ワシントン大学人類学部
- O1-05 生活習慣病予防健診の運動の動機づけに影響を与える要因を明らかにする  
○福田知恵\* 中島浩子 重松由佳子  
\*久留米大学大学院医学研究科
- O1-06 栄養の専門知識を学んだ高齢者の主観的健康観に影響を及ぼす要因について  
○吉澤剛土\* 佐藤智英 宮本佳代子  
\*十文字学園女子大学食物栄養学科公衆衛生学研究室

## 一般演題口演プログラム（第2日目）

記念講堂

2019年11月2日（土）

9：15～10：50 口演2

座長：金城芳秀（沖縄県立看護大学）

O2-01 インシビリティ評価用調査票作成の試みー学生の認識に焦点を当ててー

○西川浩昭\* 金城芳秀 佐伯圭一郎 李 廷秀 宮里暁乃 大城真理子

\*聖隷クリストファー大学看護学部

O2-02 認知症高齢者向け常備菜の開発：嚥下調整食としての適合可能性

○佐藤香苗\* 阿部雅子

\*東都大学管理栄養学部

O2-03 運動器不安定症を呈する地域在住中高齢女性の身体機能および精神機能の特徴

○木村靖夫\* 久富 守 池上寿伸 町田正直 河合潤子 大木和子

\*Inst. Fitness & Health Sciences

O2-04 バリステイックな筋力測定のための装置開発

○梅村二葉\*

\*放送大学教養学部自然と環境コース

O2-05 Betel quid intake and its associated factors in Myanmar

Kanako Yoshikawa ○Midori Matsushima\* Hiroyuki Yamada

\*University of Tsukuba

O2-06 各種 Polysulfone 膜透析器からの Polyvinylpyrrolidone の溶出動態の検証

○佐藤宜伯\* 堀内勇人 深澤伸慈

\*小松短期大学臨床工学専攻科

## ポスターセッション（第1日目）

良順会館 1F 専齋ホール

2019年11月1日（金）

15:00～15:50 ポスターディスカッション1

P1-01 女子大学生における中学・高校時の運動種目と現在の体力・運動能力との関連

○金 美珍\*

\*埼玉純真短期大学

P1-02 呼吸困難を呈する男性患者の身体活動量－間質性肺炎と慢性閉塞性肺疾患の比較－

○中根佳純\* 花田匡利 松浦江美 石松祐二 田中宏典

\*長崎大学大学院医歯薬総合研究科，長崎大学病院

P1-03 気象要因（気温，日照時間）とロコモティブシンドロームの関連－前期高齢者女性を対象に－

○岡田文江\* 豊川智之 古畑 公

\*和洋女子大学大学院，晃陽看護栄養専門学校

P1-04 30代・40代女性の骨密度とその関連因子

○秦実紗希\* 小倉志保 チタマ朋香 大石和代 中尾理恵子 本田純久

\*久留米大学病院

P1-05 高齢女性における体脂肪及び筋肉分布－前期高齢者と後期高齢者の比較－

○弓桁亮介\* 山内里紗 刑部慶太郎 村田加奈子 中山香映 池田亜由美

宮下まゆみ 堀川浩之

\*昭和大学富士吉田教育部

P1-06 椎体骨折スクリーニング法の比較

○水上 諭\* 安部恵代 有馬和彦 西村貴孝 金ヶ江光生 富田義人 青柳 潔

\*長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野

P1-07 Demonstration of jump variations and syncopated dance for cultivation of physical joyousness among females

○神田 晃\*

\*弘前大学大学院医学研究科食と健康科学講座

P1-08 食品摂取量が食後血糖値に及ぼす影響－きゃべつ，トマト，わかめ，まいたけの比較－

○高橋寛子\* 藤倉純子 武藤志真子

\*帝京平成大学健康メディカル学部



- P1-09 インドネシアにおける食塩摂取量の推定  
 ○酒井悠衣\* 荒木徹也 関山牧子 小西祥子  
 \*東京大学大学院農学生命科学研究科
- P1-10 漁業従事者の船上における食生活習慣と健康に関する調査  
 ○石見百江\* 森川真帆 飛奈卓郎  
 \*長崎県立大学大学院
- P1-11 ウガンダ在来野菜による HIV 陽性者の生計・栄養改善  
 ○巢内秀太郎\*  
 \*長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科, シェア＝国際保健協力市民の会
- P1-12 大学生は学童期と同様に歯磨き行動を継続しているか？  
 ○上西花果\* 伊東恵理子 大西真由美  
 \*長崎県西彼保健所
- P1-13 歯科衛生士専門学校の学生は1日何回歯を磨いているのか  
 ○齊藤具子\*  
 \*筑波学院大学
- P1-14 地域在住高齢者のフレイルと嚥下障害の関係  
 ○西田隆宏\* 山部一実 本田純久  
 \*佐世保市吉井地域包括支援センター, NPO 食支援ネットワーク・長崎嚥下リハビリテーション研究会, 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科看護学専攻
- P1-15 高齢者に対する牛乳乳製品が及ぼす影響  
 ーロコモティブシンドローム（サルコペニア）予防を中心にー  
 ○林原好美\* 可知謙治 野口祥子 児玉浩子  
 \*帝京平成大学
- P1-16 ネパール・ポカラ市周辺における Female Community Healthcare Volunteer (FCHV) の活動実態：  
 災害時対応可能性の検討  
 ○鴨田玲子\* 駒形朋子 佐々木吉子  
 \*東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科
- P1-17 ネパール国・高地住民における健康リスク因子の探索  
 ○中野政之\* 有馬弘晃 山本太郎  
 \*長崎大学熱帯医学研究所

- P1-18 ネパール都市部における学校での結核予防教育に必要な項目－Delphi method による検討－  
 ○城川美佳\* Ram Sharan Gopali Bijay Maharjan  
 \*神奈川県立保健福祉大学
- P1-19 カンボジア国 健診・検査センター開設における教訓－事業遅延の要因－  
 ○菅本鉄広\* 柳亮一郎 紺 麻美 豊崎佳奈子 岡田耕輔  
 \*公益財団法人結核予防会 国際部
- P1-20 National Tuberculosis Control Program in the Philippines  
 ○Phyo Theingi\* Akane Fudo Damian Akapoeh Nsoh Gifty Abla Gakpo  
 Naomi Pora Pank Patrick Mukadi Kakoni Scott Lucas Atsuko Imoto Miho Sato  
 \*Nagasaki University School of Tropical Medicine and Global Health
- P1-21 Understanding the Field Health Service Information System (FHSIS) in the Republic of Philippines  
 ○Thura Koko\* Thidatheb Kounnavong Kimsrouen Houll Sambathrathmanith Morm  
 Thipmalakham Sythala Scott Lucas Atsuko Imoto Miho Sato Taro Kikuchi  
 \*Nagasaki University, School of Tropical Medicine and Global Health
- P1-22 ウズベキスタンにおける保健分野の開発課題－非感染性疾患対策に関する支援について－  
 ○青木浩司\* 阿部千春 飯島一徳 吉藤康太 鈴木裕子  
 \*株式会社国際テクノ・センター
- P1-23 ヒトの接触行動と人口構成から求めた基本再生産数と人口密度の関連について  
 ○竹内昌平\*  
 \*長崎県立大学看護栄養学部
- P1-24 市民における HIV 陽性者に対するパブリックスティグマの実態把握の試み  
 ○戸ヶ里泰典\* 阿部桜子 井上洋士  
 \*放送大学
- P1-25 Mental Health in the Philippines: a review of the current situation in Manila and Leyte  
 ○Shingo Tamaki\* Siti Nur-Diyana Mohd Alipah Ken Yoshimura Ryuji Yoshino  
 Scott Lucas Taro Kikuchi Atsuko Imoto Miho Sato  
 \*Nagasaki University, School of Tropical Medicine and Global Health
- P1-26 健康関連の精神的体力 (Health-related mental fitness) －概念の整理と測定を試み－  
 ○水野哲也\* 谷木龍男 戸ヶ里泰典  
 \*東京医科歯科大学

- P1-27 東日本大震災8年後の被災地における育児困難感とその関連要因  
 ○西原三佳\* 中村安秀 大西真由美  
 \*長崎大学生命医科学域（保健学系）
- P1-28 被災地復興期における健康支援活動ー健康相談会でコミュニティづくりー  
 ○杉江美子\* 東海林かつ子 日野 富 櫻井 忍 畠山明子 佐々木明美  
 小泉香織 釘村千夜子 高田亜矢子 土井由美 木下 恵 橋浦奈美子  
 村上廣子  
 \*千里金蘭大学, 元宮城県看護協会
- P1-29 中高年住民の災害に対する備えに関連する要因ー長崎エコヘルズ調査ー  
 ○中尾理恵子\* 大西真由美 夏原和美 小谷真吾 田所聖志 末吉秀二  
 柳生文宏 梅崎昌裕  
 \*長崎大学生命医科学域（保健学系）
- P1-30 高齢者にとって健康状態が良好と感じる要因は何か  
 ○西山 緑\* 橋本充代 降旗幹子 滝田恭子 大場いくみ 山崎高世 古市照人  
 \*獨協医科大学地域医療教育センター
- P1-31 高齢がん患者の家族介護者に関する文献検討  
 ○仁科聖子\* 横山和仁 松川岳久 遠藤源樹 白濱龍太郎  
 \*防衛医科大学校
- P1-32 地域住民における健康づくり教室が行動変容ステージに与える影響  
 ○森川真帆\* 永田菜々 稲垣佳映 田口奈美 飛奈卓郎 石見百江  
 \*長崎県立大学
- P1-33 看護学生の多文化理解研修プログラムにおけるコミュニケーション能力の向上  
 ー英語力の変化とソーシャルスキルに注目してー  
 ○宮澤純子\* 杉江美子  
 \*城西国際大学

## ポスターセッション（第2日目）

良順会館 1F 専齋ホール

2019年11月2日（土）

11:00～11:50 ポスターディスカッション2

- P2-01 中国「二人っ子政策」による少子化対策の効果に関する一考察  
—上海市医療職女性における出産・子育てに関する意識調査（第2回）の結果から—  
○尚 爾華\*  
\*愛知東邦大学人間健康学部
- P2-02 ヨルダンにおける産後期の避妊実行率：横断研究  
○駒澤牧子\* 湯浅資之 佐藤美穂 白山芳久 駒澤 大 マラック オウリ  
\*順天堂大学
- P2-03 ザンビア北部の小学校における中途退学の理由に関する現状調査：若年妊娠に注目して  
○佐藤美穂\* 船橋 周 後藤久美子 Alice Sinyinza Naomi Mukwashi  
Isaac Banda Evaristo Kunka  
\*長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科
- P2-04 Perception of Teenage Pregnancy among Teenage Pregnant Women in Metro Manila and Tacloban  
in the Philippines  
○Daniel Kwadwo Djan\* Yoshiko Kawaguchi Kozue Tabei  
Souksathaphone Chanthamath Sakiho Yamazaki Scott Lucas Taro Kikuchi  
Miho Sato Atsuko Imoto  
\*Nagasaki University School of Tropical Medicine and Global Health
- P2-05 妊娠期女性の食事改善について～食事調査結果から～  
○松井幾子\* 水貝明音  
\*和洋女子大学
- P2-06 妊婦の栄養素及び食品摂取量と切迫早産徴候出現との関連  
○チタマ朋香\* 小倉志保 秦実紗希 大石和代 中尾理恵子  
\*いまむらウィミンズクリニック
- P2-07 母子保健におけるIoT活用—妊娠前・妊娠・育児期のスマホアプリの現状—  
○西岡笑子\* 今野友美  
\*防衛医科大学校医学教育部看護学科母性看護学講座

- P2-08 島外出産を経験した母親の思い—フォーカスグループインタビューより—  
○中尾優子\* 今村早希  
\*鹿児島大学医学部保健学科
- P2-09 産褥早期における大腿四頭筋筋力訓練の効果  
○小倉志保\* 秦実紗希 チタマ朋香 大石和代 中尾理恵子 本田純久  
\*産業医科大学病院
- P2-10 1歳6か月児を持つ母親の育児不安に関連する要因  
○キット彩乃\* 有馬和彦 水上 諭 富田義人 西村貴孝 安部恵代 青柳 潔  
\*長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻公衆衛生学分野
- P2-11 乳幼児の父親に対する育児講座の実施と育児に関するアンケート調査  
○富田遙夏\* 谷 知 本多直子  
\*長崎大学病院
- P2-12 特発性血小板減少性紫斑病患者における出血症状と血小板数、年齢との関連—臨床調査個人票を用いた検討—  
○島田直樹\* 羽藤高明 倉田義之 村田 満  
\*国際医療福祉大学基礎医学研究センター
- P2-13 40歳以上の地域在住女性における血中性ホルモンと骨量との関連  
○西村貴孝\* 吉良 碧 水上 諭 富田義人 有馬和彦 安部恵代 青柳 潔  
\*長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野
- P2-14 インドネシアの都市スラムにおける女性の月経および生理用品の使用・処理の実態について  
○佐藤寿実\* Widayarani Umi HAMIDAH 池見真由 Neni SINTAWARDANI  
山内太郎  
\*北海道大学大学院保健科学院
- P2-15 Knowledge and perceptions about human papillomavirus (HPV) and cervical cancer, and cervical cancer screening use among rural and urban women in the Philippines  
○Atsuko Imoto\* Sumihisa Honda Erlidia F. Llamas-Clark  
\*School of Tropical Medicine and Global Health, Department of Community-based Rehabilitation Sciences, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University
- P2-16 夜間のスマートフォン使用が就寝・起床・睡眠時間・朝食摂取および体調等に及ぼす影響  
○小林正子\*  
\*女子栄養大学栄養学部発育健康学研究室

- P2-17 中国東北部農村の子どもの体型不満とその影響因子  
 ○郝 明\* 韓 威 山内太郎  
 \*北海道大学大学院保健科学研究院
- P2-18 子どもはいつ低栄養におちいるのか  
 ～カンボジア農村部 離乳期における子どもの栄養追跡結果より～  
 ○宮崎あすか\* 松井三明 Taing BunSreng 岩本あずさ Cox Sharon E  
 \*長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科, 長崎大学生命医科学域 (保健学系) リプロ  
 ダクティブヘルス分野
- P2-19 肥満および体重増加の有無別にみた日常健康関連行動  
 ○渡辺悦子\* 李 廷秀 森 克美 樋野公宏  
 \*東京医療保健大学医療保健学部
- P2-20 子どもの栄養状態に関する養育者の認識の実際とその関連要因  
 ○日達真美\* ワンジヒアバイオレット ニヤンディエカリリアン ウェケサノラ  
 チェピキルイフランチェスカ ワタサチャンゴマ 金子 聡  
 \*長崎大学大学院医歯薬総合研究科リーディングプログラム
- P2-21 妊娠期の母親の就労と低出生体重児—東京都3市の調査より—  
 ○吉朝加奈\* 三砂ちづる  
 \*東邦大学看護学部
- P2-22 地域および学校における衛生介入のトイレ普及効果—ランダム化比較試験のシステマティッ  
 クレビューとメタ解析—  
 ○井垣智志\* Nguyen Tien Huy Nguyen Tran Minh Duc Nguyen Hai Nam  
 Gehad Mohamed Tawfik Tran Thi Tuyet Nga 橋爪真弘  
 \*長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科
- P2-23 Impact of introducing new school latrine on school latrine-related practices, perceptions and health  
 status of children in Mwea Division, Kirinyaga District, Central Kenya  
 ○Mitsui Yoshinori\* Ngethe D Muhoho Charles Mwandawiro  
 \*Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University
- P2-24 筑後川流域における日本住血吸虫症対策：元患者のオーラル・ヒストリー  
 ○長谷川光子\*  
 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程

- P2-25 戦後の地区衛生組織活動に関する検討－「蚊とはえのいない生活実践運動」と衛生教育－  
○田中誠二\* 杉田 聡 丸井英二  
新潟大学人文社会科学系
- P2-26 Trace Elements Level and Hematological Parameters in Japanese Community Dwellers  
○ Kyi Mar Wai\* Kanda Akira Kaori Sawada Kumagai Mika Masakata Ando  
Kazuyoshi Itai Shigeyuki Nakaji Kazushige Ihara  
\*Department of Mibyo Science, Graduate School of Medicine, Hirosaki University,  
Department of Social Medicine, Graduate School of Medicine, Hirosaki University
- P2-27 大気中粒子状物質レベルと循環機能障害との関係－文献レビューとモニタリングツールの検討－  
○荻田香苗\* 吉田正雄 菖田慎一 原田まつ子  
\*杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室
- P2-28 指先の触覚・触知から衝動を意識化し、自己と社会を学ぶ試み  
○守山正樹\*  
\*日本赤十字九州国際看護大学
- P2-29 受刑・触法歴がある救護施設入所者の健康課題・障がい  
○川崎涼子\* 大西真由美  
\*大分県立看護科学大学
- P2-30 大分県の外国人技能実習生の動向と技能実習生の健康支援における課題  
○篠原 彩\* 川崎涼子  
\*大分県立看護科学大学

教育ワークショップ・連携研究会セミナー (11月3日(日))

環境疫学教育ワークショップ

日時: 2019年11月3日(日) 9:00 ~ 15:00

場所: グローバルヘルス総合研究棟1F 大セミナー室

企画: 橋爪真弘(東京大学), Chris Fook Sheng Ng (長崎大学),  
本田 靖 (筑波大学)

Title: Time-series regression analysis in environmental epidemiology: concepts and its application (英語で開催)

Instructors and assistants (alphabetical order):

Masahiro Hashizume, Tokyo University

Yasushi Honda, Faculty of Health and Sport Sciences, University of Tsukuba

Lina Madaniyazi, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University

Chris Fook Sheng Ng, School of Tropical Medicine & Global Health, Nagasaki University

Xerxes Seposo, School of Tropical Medicine & Global Health, Nagasaki University

Aurelio Tobias, Spanish Council for Scientific Research, Institute of Environmental assessment and Water Research, Barcelona (Spain).

Tentative Outline

Session	Time	Description	Instructor	Assistant/ support
	9:00-9:05	Opening remark	Masahiro Hashizume	
1	9:05-9:50 (45m)	Introduction of environmental time-series analysis	Aurelio Tobias	Hashizume
2	9:50-10:35 (45m)	Modeling temperature and mortality using GLM	Lina Madaniyazi	Seposo
	10:35-10:45	Break		
3	10:45-12:00 (75m)	Data analysis practical (GLM)	Xerxes Seposo/ Lina Madaniyazi	All others
	12:00-13:00	Lunch		
4	13:00-13:45 (45m)	Modeling temperature and mortality using DLNM	Chris Fook Sheng Ng	Seposo
5	13:45-14:55 (115m)	Data analysis practical (DLNM)	Xerxes Seposo/ Chris Fook Sheng Ng	All others
6	14:55-15:00	Closing	Masahiro Hashizume	



連携研究会セミナー1：「保健活動の記録と記述の研究会」企画：井原一成（弘前大学）

日 時：2019年11月3日（日）9：30～12：30

場 所：グローバルヘルス総合研究棟4F中セミナー室1

テーマ：アクション・リサーチと保健活動

芳賀 博（桜美林大学） 「住民主体の活動を促すアクション・リサーチの展開」

小島光洋（湯沢町教育委員会）「レヴィンとアクション・リサーチ」

守山正樹（日本赤十字九州国際看護大学）

「衛生・民族・健康などの概念を、手の触覚から考える試み」

藤田雅美（国立国際医療研究センター 国際医療協力局）

「SDGs時代の協働」

司 会：小島光洋（湯沢町教育委員会）

連携研究会セミナー2：「歴史研究会」企画：西山 緑（獨協医科大学・地域医療教育センター）

日 時：2019年11月3日（日）9：30～11：00

場 所：グローバルヘルス総合研究棟4F中セミナー室2

演 題：日本の近代医療革命ーポンペ、モーニッケ、ボードインと彼らの弟子達

演 者：相川忠臣（長崎大学名誉教授）

幕末から明治維新にかけてなされた日本の近代医療革命を俯瞰する講演です。種痘ワクチンを普及したモーニッケ、近代医学教育を創始し衛生学を重視したポンペ、最新の臓器別臨床医学を教えたボードインら蘭人教師たちについて、彼らの弟子たち、モーニッケとポンペにそれぞれ協力した植林宗建と松本良順の活躍、近代公衆衛生行政を開始したボードインの弟子相良知安と長与専斎の活躍について、

司 会：西山 緑（獨協医科大学・地域医療教育センター）

連携研究会セミナー3：「エコヘルス研究会」企画：Hein Mallee（総合地球環境学研究所）

日 時：2019年11月3日（日）13：30～16：30

場 所：グローバルヘルス総合研究棟4F中セミナー室1

テーマ：健康観という観念についての多面的考察

本セッションは健康観という観念について考察する。健康に関するオントロジー概念同様、おおよそ健康観とは、健康と病気について共有されている暗黙の考え方や概念である。本セッションでは、特定の時代と文化的背景における特定の集団の健康を考察する方法として、健康観をより具体的に探求する。基調講演による背景紹介に続き、セッションの主要部分では、事例研究の紹介を複数行い、特定の時代・文化における健康観の例を検討する。